



## 2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ビーグリー 上場取引所 東  
 コード番号 3981 URL https://www.beagle.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 仁平  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 三吉 達治 (TEL) 03-6706-4000  
 定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 2025年3月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	18,446	△3.3	2,783	10.6	1,786	19.4	1,726	19.8	1,303	89.1
2023年12月期	19,080	2.0	2,516	△11.8	1,496	△14.7	1,440	△10.4	689	3.7

(注) 包括利益 2024年12月期 1,303百万円(89.1%) 2023年12月期 689百万円(3.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	220.02	219.21	18.1	9.7	9.7
2023年12月期	114.74	114.11	10.4	7.7	7.8

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 ー百万円 2023年12月期 ー百万円

(注) 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費(出版権の償却費を含む)+のれん償却費+敷金償却費+株式報酬費用±その他の調整項目

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	17,294	7,486	43.3	1,343.75
2023年12月期	18,384	6,953	37.8	1,153.25

(参考) 自己資本 2024年12月期 7,481百万円 2023年12月期 6,953百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	2,341	△245	△1,803	5,118
2023年12月期	1,859	△173	△1,078	4,825

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00	90	13.1	1.4
2024年12月期	—	0.00	—	23.00	23.00	128	10.5	1.8
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	48.00	48.00		30.2	

## 3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	19,593	6.2	2,775	△0.3	1,764	△1.3	1,709	△1.0	885	△32.1	159.02

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年12月期	6,283,986株	2023年12月期	6,263,986株
2024年12月期	716,353株	2023年12月期	234,706株
2024年12月期	5,924,701株	2023年12月期	6,006,454株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2025年2月17日(月)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、インバウンド需要の増加や国内需要の回復等を背景に、社会経済活動の正常化が進み、企業活動や個人消費に持ち直しの動きがみられる等、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方で、米国の今後の政策動向、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中朝情勢の緊迫化に伴う地政学リスクの上昇、不安定な円相場やインフレによる経済停滞の懸念等、依然として不透明な事業環境が続いております。

当社を取り巻く事業環境は、紙の出版市場が縮小している一方で、電子出版市場は継続的に拡大しており、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2024」によると、2024年度の成長率は5%程度になると予測されており、今後も電子書籍及び電子コミックの市場規模は緩やかな拡大が続くことが予想されております。

このような市場環境の中で、プラットフォームセグメントにおいては、コミック配信サービス「まんが王国」のブランド構築に注力しつつ効率的な投資を、コンテンツセグメントにおいては、継続的なデジタル成長による安定的な利益創出を実行しました。

また、2024年12月1日を効力発生日として、ぶんか社を存続会社、ぶんか社グループを消滅会社とした吸収合併を実施したことにより、税務上の繰越欠損金を承継し、法人税等が減少いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は18,446,924千円（前年同期比3.3%減）、調整後EBITDAは2,783,283千円（前年同期比10.6%増）、営業利益は1,786,902千円（前年同期比19.4%増）、経常利益は1,726,009千円（前年同期比19.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,303,525千円（前年同期比89.1%増）となりました。なお、当社グループは、株主資本当期純利益率（ROE）を重要な経営指標と位置づけております。当連結会計年度末の株主資本当期純利益率（ROE）は18.1%（前年同期10.4%）となり、前連結会計年度末と比較して7.7ポイントの増加となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (プラットフォームセグメント)

プラットフォームセグメントの主力サービスであるコミック配信サービス「まんが王国」においては、ユーザーの訪問・定着・課金の流れを促し、課金者数と顧客単価を上げるべく、お得感を訴求するキャンペーンや幅広いユーザー層獲得のための販売促進活動を積極的に行いました。一方で、アクティブユーザー数の減少傾向に加え、ライトユーザーの定着・育成に一定の時間を要す状況が続きました。その結果、「まんが王国」の売上高は前年同期比5.7%減となりました。

また、2023年6月に提供を開始した北米向けコミック配信サービス「yomoyo（ヨモヨ）」においては、コンテンツの許諾交渉を推進いたしました。

総合エンターテインメント事業を展開する株式会社アミューズとの協業においては、2023年7月から10月に開催した『目指せメディアミックス！「現代恋愛×ファンタジー」小説コンテスト』の結果を発表し、受賞作品のコミカライズを推進いたしました。また、2024年3月には、音楽と漫画を融合させた次世代コンテンツを生み出すクロスメディアプロジェクト「Project CO-MUSIX」を立ち上げ、第1弾となるオムニバス作品を「まんが王国」ほか、動画プラットフォームやSNS等で展開いたしました。

利益面においては、売上高が前年同期比で減少し、広告宣伝費を中心とした営業費用についても前年同期比で減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は11,799,865千円（前年同期比6.1%減）、営業利益は632,749千円（前年同期比8.1%増）となりました。

## (コンテンツセグメント)

コンテンツセグメントにおいては、デジタルコンテンツを中心に、発刊点数の増加、電子書店ごとの特性や読者ニーズに沿った販売促進活動を積極的に行いました。また、紙出版においては、紙出版市場の縮小を鑑み、配本部数の管理及び価格設定等のコストコントロールを実施いたしました。

デジタル出版においては、読者の嗜好性に合わせたコンテンツの創出とジャンルの拡大を推進し、SNSや動画プラットフォームを活用したプロモーションを強化した結果、ぶんか社が得意とするBL、TLジャンルを中心とした女性向けコミックジャンルの作品や近年創刊したデジタルコミック誌からの作品の売上が堅調に推移いたしました。これにより、売上高は前年同期比9.6%増となりました。また、新たな取り組みとして、2024年4月にライトBLレーベル「GUSHgem」を創刊いたしました。

紙出版においては、配本部数のコントロール及び雑誌の隔月化や休刊を実施した結果、売上高は前年同期比13.3%減となりました。

このほか、2024年1月にはぶんか社と海王社から2作品がテレビドラマ化し、『消せない「私」～炎上しつづけるデジタルタトゥー～』が日本テレビにて放送、「好きやねんけどどうやろか」が読売テレビにて放送されました。また、2024年2月から累計発行部数21万部を超える人気BL作品「パーフェクトプロポーズ」を原作としたドラマがフジテレビ公式動画配信サービス「FOD」で配信され、2024年7月には「三ツ矢先生の計画的な餌付け。」がMBS毎日放送にて放送されました。

利益面においては、主に紙出版収益が減少したものの、デジタル出版収益が前年同期比で増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は6,823,417千円(前年同期比2.2%増)、営業利益は1,153,312千円(前年同期比26.6%増)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における資産合計は17,294,580千円となり、前連結会計年度末に比べ1,090,377千円減少しました。

流動資産は8,579,904千円となり、前連結会計年度末に比べ429,291千円減少しました。これは主に、現金及び預金が293,227千円増加した一方で、売掛金が735,465千円減少したことによるものです。

固定資産は8,714,675千円となり、前連結会計年度末に比べ661,086千円減少しました。これは主に、投資その他の資産が148,044千円増加した一方で、無形固定資産が804,266千円減少したことによるものです。

## (負債)

当連結会計年度末における負債合計は9,808,044千円となり、前連結会計年度末に比べ1,623,670千円減少しました。

流動負債は8,023,044千円となり、前連結会計年度末に比べ443,460千円減少しました。これは主に、未払消費税等が112,619千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が208,160千円、未払金が166,263千円、未払法人税等が141,351千円、返金負債が66,365千円減少したことによるものです。

固定負債は1,785,000千円となり、前連結会計年度末に比べ1,180,210千円減少しました。これは、長期借入金が1,020,000千円、繰延税金負債が160,210千円減少したことによるものです。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は7,486,535千円となり、前連結会計年度末に比べ533,293千円増加しました。これは主に、利益剰余金が1,211,521千円増加したこと及び自己株式が693,271千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、43.3%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は5,118,725千円となり、前連結会計年度末に比べ293,227千円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動においては、税金等調整前当期純利益1,726,009千円から、主な加算項目として、減価償却費395,965千円、のれん償却額590,649千円、売上債権の減少額739,838千円、未払又は未収消費税等の増減額112,619千円等がありました。これに対して主な減算項目として、仕入債務の減少額208,160千円、未払金の減少額166,208千円、返金負債の減少額66,365千円、その他44,326千円、利息の支払額50,890千円、法人税等の支払額717,829千円等がありました。

この結果、獲得した資金は2,341,510千円（前年同期は1,859,715千円の獲得）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動においては、主な資金減少要因として、無形固定資産の取得による支出161,028千円、敷金及び保証金の差入による支出65,946千円等がありました。

この結果、使用した資金は245,001千円（前年同期は173,689千円の使用）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動においては、主な資金減少要因として、長期借入金の返済による支出1,020,000千円、自己株式の取得による支出700,036千円、配当金の支払額90,364千円等がありました。

この結果、使用した資金は1,803,281千円（前年同期は1,078,509千円の使用）となりました。

### (4) 今後の見通し

当社を取り巻く事業環境は、紙の出版市場が縮小している一方で、電子書籍及び電子コミックの市場規模は今後も緩やかな拡大が続くことが予想されております。

このような環境の下、当社グループは持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して、2025年度～2027年度を対象年度とした「中期経営計画2027」を策定いたしました。

プラットフォームセグメントにおいては、「まんが王国」の再成長に向けたサービス・コンテンツの拡充に注力いたします。「お得感No.1」戦略による課金意欲の高いロイヤルカスタマーへの育成を継続するとともに、「まんが王国」内にて、一定時間経過するごとに1話が無料で読めるサービス「待ちコミ」の提供を開始し、効果的なプロモーションを実施することで、ライトユーザーの獲得・定着を強化してまいります。また、オリジナル作品の連載のほか、新規許諾及び先行配信タイトルの獲得を推進し、“ここだから読める”作品を拡充することで差別化を図ってまいります。なお、2025年12月期第3四半期において、本社移転を予定しており、それに伴う一時的な費用を織り込んでいることから、前年同期比で減益となる見通しであります。

コンテンツセグメントにおいては、読者の嗜好の変化や配信媒体の特性をいち早く捉えたコンテンツの制作体制を整備し、主力ジャンルである女性向けコンテンツに加え、より幅広い読者を対象としたジャンルの作品を拡大することで、デジタル売上への更なる成長に努めてまいります。紙出版売上においては、配本部数の管理及び価格設定等のコストコントロールの徹底を継続するとともに、ジャンルの特性に合った効果的なセールスプロモーションの推進により、収益性の向上を図ってまいります。

以上を踏まえ、2025年12月期の通期業績見通しについては、売上高は19,593百万円（前年同期比6.2%増）、調整後EBITDAは2,775百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は1,764百万円（前年同期比1.3%減）、経常利益は1,709百万円（前年同期比1.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は885百万円（前年同期比32.1%減）を予想しております。

※「中期経営計画2027」の詳細につきましては、2025年2月14日公表の「中期経営計画策定に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、日本基準を適用して連結財務諸表等を作成しております。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の海外事業の状況や国内外の諸情勢を踏まえ、随時検討してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,825,497	5,118,725
受取手形	30,745	26,372
売掛金	4,001,549	3,266,083
商品及び製品	58,552	63,594
貯蔵品	623	459
前渡金	8,097	30,451
前払費用	67,510	74,842
未収入金	7,853	6,370
未収還付法人税等	4,839	—
未収消費税等	10,565	—
その他	1,091	912
貸倒引当金	△7,729	△7,907
流動資産合計	9,009,196	8,579,904
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,662	14,662
建物附属設備	75,012	75,258
工具、器具及び備品	147,433	156,125
減価償却累計額	△168,060	△181,863
減損損失累計額	△1,602	△1,602
有形固定資産合計	67,444	62,580
無形固定資産		
のれん	8,328,371	7,737,721
ソフトウェア	127,602	91,852
コンテンツ資産	248,578	218,740
ソフトウェア仮勘定	639	7,500
コンテンツ資産仮勘定	3,370	6,013
著作権	432,666	275,333
その他	1,232	1,032
無形固定資産合計	9,142,462	8,338,195
投資その他の資産		
敷金及び保証金	108,492	174,439
繰延税金資産	37,380	120,780
その他	19,981	18,680
投資その他の資産合計	165,854	313,899
固定資産合計	9,375,761	8,714,675
資産合計	18,384,958	17,294,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,437,019	3,228,859
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,020,000	1,020,000
未払金	394,325	228,061
未払費用	35,367	42,944
未払法人税等	426,812	285,461
未払消費税等	27,328	139,947
契約負債	592,763	568,950
返金負債	366,313	299,948
預り金	39,295	55,357
その他	127,279	153,513
流動負債合計	8,466,504	8,023,044
固定負債		
長期借入金	2,805,000	1,785,000
繰延税金負債	160,210	—
固定負債合計	2,965,210	1,785,000
負債合計	11,431,715	9,808,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,901,359	1,906,359
資本剰余金	1,900,859	1,905,859
利益剰余金	3,501,267	4,712,788
自己株式	△350,242	△1,043,514
株主資本合計	6,953,242	7,481,492
新株予約権	—	5,043
純資産合計	6,953,242	7,486,535
負債純資産合計	18,384,958	17,294,580

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	19,080,733	18,446,924
売上原価	12,532,377	12,106,072
売上総利益	6,548,356	6,340,851
販売費及び一般管理費	5,051,447	4,553,949
営業利益	1,496,908	1,786,902
営業外収益		
受取利息	24	325
受取配当金	107	127
受取返戻金	2,590	1,892
助成金収入	—	600
事業譲渡益	—	963
受取賠償金	1,908	—
その他	459	208
営業外収益合計	5,091	4,117
営業外費用		
支払利息	51,354	50,685
融資手数料	2,874	2,880
消費税等調整額	4,442	5,510
その他	2,869	5,933
営業外費用合計	61,540	65,010
経常利益	1,440,459	1,726,009
税金等調整前当期純利益	1,440,459	1,726,009
法人税、住民税及び事業税	797,767	579,853
法人税等調整額	△46,513	△157,369
法人税等合計	751,254	422,483
当期純利益	689,204	1,303,525
親会社株主に帰属する当期純利益	689,204	1,303,525

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益	689,204	1,303,525
包括利益	689,204	1,303,525
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	689,204	1,303,525

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,893,301	1,892,826	2,885,192	△356,628	6,314,691
当期変動額					
新株の発行	8,057	8,057			16,115
剰余金の配当			△71,968		△71,968
親会社株主に帰属する 当期純利益			689,204		689,204
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分		△24	△1,161	6,385	5,198
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	8,057	8,033	616,074	6,385	638,550
当期末残高	1,901,359	1,900,859	3,501,267	△350,242	6,953,242

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	—	6,314,691
当期変動額		
新株の発行		16,115
剰余金の配当		△71,968
親会社株主に帰属する 当期純利益		689,204
自己株式の取得		—
自己株式の処分		5,198
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—
当期変動額合計	—	638,550
当期末残高	—	6,953,242

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,901,359	1,900,859	3,501,267	△350,242	6,953,242
当期変動額					
新株の発行	5,000	5,000			10,000
剰余金の配当			△90,439		△90,439
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,303,525		1,303,525
自己株式の取得				△700,036	△700,036
自己株式の処分		—	△1,565	6,764	5,199
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	5,000	5,000	1,211,521	△693,271	528,249
当期末残高	1,906,359	1,905,859	4,712,788	△1,043,514	7,481,492

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	—	6,953,242
当期変動額		
新株の発行		10,000
剰余金の配当		△90,439
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,303,525
自己株式の取得		△700,036
自己株式の処分		5,199
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	5,043	5,043
当期変動額合計	5,043	533,293
当期末残高	5,043	7,486,535

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,440,459	1,726,009
減価償却費	423,202	395,965
のれん償却額	590,649	590,649
支払利息	51,354	50,685
融資手数料	2,874	2,880
売上債権の増減額 (△は増加)	346,554	739,838
仕入債務の増減額 (△は減少)	126,484	△208,160
未払金の増減額 (△は減少)	△70,086	△166,208
契約負債の増減額 (△は減少)	△72,452	△23,812
返金負債の増減額 (△は減少)	△51,552	△66,365
未払又は未収消費税等の増減額	△139,364	112,619
その他	31,265	△44,326
小計	2,679,390	3,109,777
利息及び配当金の受取額	132	452
利息の支払額	△51,292	△50,890
法人税等の支払額	△768,513	△717,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,859,715	2,341,510
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,247	△18,311
無形固定資産の取得による支出	△154,450	△161,028
敷金及び保証金の差入による支出	—	△65,946
その他	7	285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,689	△245,001
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,020,000	△1,020,000
融資手数料の支払による支出	△2,874	△2,880
株式の発行による収入	16,115	10,000
自己株式の取得による支出	—	△700,036
配当金の支払額	△71,750	△90,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,078,509	△1,803,281
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	607,517	293,227
現金及び現金同等物の期首残高	4,217,980	4,825,497
現金及び現金同等物の期末残高	4,825,497	5,118,725

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

連結キャッシュ・フロー計算書関係

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「未払費用の増減額(△は減少)」は、重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「未払費用の増減額(△は減少)」582千円、「その他」30,683千円は、「その他」31,265千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループのうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、事業種類別のセグメントから構成されており、「プラットフォームセグメント」及び「コンテンツセグメント」を報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「プラットフォームセグメント」は、当社の既存事業であるまんが王国を中心としたユーザー課金ビジネス及びその付帯ビジネス等で構成されております。

「コンテンツセグメント」は、当社の子会社であるぶんか社グループの既存事業を中心とした電子書籍、出版及びそれらの付帯ビジネス等で構成されております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価額に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	プラットフォーム セグメント	コンテンツ セグメント	計		
売上高					
自社配信	11,745,548	—	11,745,548	—	11,745,548
他社配信	389,063	4,354,147	4,743,211	—	4,743,211
紙出版	—	1,688,344	1,688,344	—	1,688,344
その他	428,151	475,477	903,628	—	903,628
顧客との契約から生じる収益	12,562,763	6,517,969	19,080,733	—	19,080,733
外部顧客への売上高	12,562,763	6,517,969	19,080,733	—	19,080,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,090	158,306	159,397	△159,397	—
計	12,563,854	6,676,276	19,240,131	△159,397	19,080,733
セグメント利益	585,371	910,956	1,496,327	581	1,496,908
セグメント資産	8,587,068	17,601,249	26,188,318	△7,803,360	18,384,958
その他の項目					
減価償却費	241,442	181,915	423,357	△154	423,202
のれん償却額	243,897	346,752	590,649	—	590,649
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	316,698	15,946	332,644	—	332,644

(注) 1. セグメント利益の調整額581千円は、全社費用及びセグメント間取引相殺消去額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	プラットフォーム セグメント	コンテンツ セグメント	計		
売上高					
自社配信	11,077,719	—	11,077,719	—	11,077,719
他社配信	350,063	4,772,748	5,122,812	—	5,122,812
紙出版	—	1,413,088	1,413,088	—	1,413,088
その他	369,894	463,409	833,304	—	833,304
顧客との契約から生じる収益	11,797,677	6,649,246	18,446,924	—	18,446,924
外部顧客への売上高	11,797,677	6,649,246	18,446,924	—	18,446,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,188	174,170	176,358	△176,358	—
計	11,799,865	6,823,417	18,623,283	△176,358	18,446,924
セグメント利益	632,749	1,153,312	1,786,061	840	1,786,902
セグメント資産	6,770,495	11,048,853	17,819,349	△524,769	17,294,580
その他の項目					
減価償却費	214,524	181,645	396,170	△204	395,965
のれん償却額	243,897	346,752	590,649	—	590,649
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	293,904	21,318	315,223	—	315,223

(注) 1. セグメント利益の調整額840千円は、全社費用及びセグメント間取引相殺消去額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	1,153.25円	1,343.75円
1株当たり当期純利益	114.74円	220.02円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	114.11円	219.21円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	689,204	1,303,525
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	689,204	1,303,525
普通株式の期中平均株式数(株)	6,006,454	5,924,701
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	33,308	21,894
(うち新株予約権(株))	(33,308)	(21,894)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	新株予約権1種類(新株予約権の数780個)。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。